

温泉分析書

環分福第 08026 号

1. 申請者 住所 福島県大沼郡金山町大字小栗山字上村 1963
氏名 諏佐 文伍

2. 源泉名及び湧出地 源泉名 小栗山温泉
湧出地 福島県大沼郡金山町大字小栗山字五十刈 1852

3. 湧出地における調査及び試験成績
(1) 調査及び試験者 株式会社 新環境分析センター 村田 宏之
(2) 調査年月日 平成21年 2月27日
(3) 試験年月日 平成21年 2月27日
(4) 泉温 50.7℃ (調査時における気温 4℃)
(5) 湧出量 100ℓ/min (自然湧出(掘削自噴・動力揚湯))
(6) 知覚的試験 無色、清明、塩味、微硫黄臭である。
(7) 水素イオン濃度 pH 6.7
(8) ラドン(Rn) 未測定

4. 試験室における試験成績
(1) 試験者 株式会社 新環境分析センター 土田 浩之
(2) 分析終了年月日 平成21年 3月12日
(3) 知覚的試験 無色、清明、塩味、微硫黄臭である。
(4) 密度 1.0008 (20℃/4℃)
(5) 水素イオン濃度 pH 6.8 (採水6時間後)
(6) 蒸発残留物 2762 mg/kg (乾燥温度 110℃)

5. 本水1キログラム中に含有する成分、分量及び組成

(1) 陽イオン成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル (mval%)	(2) 陰イオン成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル (mval%)
水素イオン H^+	—	—	—	フッ素イオン F^-	1.0	0.05	0.12
リチウムイオン Li^+	0.7	0.10	0.22	塩素イオン Cl^-	540.1	15.23	33.91
ナトリウムイオン Na^+	836.2	36.37	80.89	臭素イオン Br^-	1.7	0.02	0.05
カリウムイオン K^+	13.9	0.36	0.79	ヨウ素イオン I^-	0.0	—	—
アンモニウムイオン NH_4^+	0.0	—	—	亜硝酸イオン NO_2^-	0.0	—	—
マグネシウムイオン Mg^{2+}	51.2	4.21	9.36	硝酸イオン NO_3^-	0.0	—	—
カルシウムイオン Ca^{2+}	77.9	3.89	8.65	水酸イオン OH^-	—	—	—
ストロンチウムイオン Sr^{2+}	1.1	0.03	0.06	硫化水素イオン HS^-	0.0	—	—
バリウムイオン Ba^{2+}	0.1	0.00	0.00	硫酸水素イオン HSO_4^-	0.0	—	—
アルミニウムイオン Al^{3+}	0.0	—	—	チオ硫酸イオン $S_2O_3^{2-}$	0.0	—	—
マンガンイオン Mn^{2+}	0.1	0.00	0.01	硫酸イオン SO_4^{2-}	570.5	11.88	26.44
鉄(II)イオン Fe^{2+}	0.3	0.01	0.02	リン酸水素イオン HPO_4^{2-}	0.0	—	—
鉄(III)イオン Fe^{3+}	—	—	—	メタ亜ヒ酸イオン AsO_2^-	—	—	—
銅イオン Cu^{2+}	0.0	—	—	炭酸水素イオン HCO_3^-	1082	17.74	39.48
亜鉛イオン Zn^{2+}	0.0	—	—	炭酸イオン CO_3^{2-}	0.0	—	—
				メタケイ酸イオン $HSiO_3^-$	—	—	—
				メタホウ酸イオン BO_2^-	—	—	—
陽イオン 計	981.5	44.97	100	陰イオン 計	2195	44.92	100

(3) 非解離成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタケイ酸 H_2SiO_3	115.9	1.48
メタホウ酸 HBO_2	6.9	0.16
メタ亜ヒ酸 $HAsO_2$	0.0	—
非解離成分 計	122.8	1.64

溶存物質 (ガス性のものを除く) 3299 mg/kg

(4) 溶存ガス成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素 CO_2	307.8	6.99
(遊離炭酸)		
遊離硫化水素 H_2S	0.0	—
溶存ガス成分 計	307.8	6.99

成分総計 3607 mg/kg

(5) その他の微量成分

総水銀 Hg 不検出 (0.0005 mg/kg 未満)
鉛 Pb 不検出 (0.005 mg/kg 未満)
カドミウム Cd 不検出 (0.001 mg/kg 未満)
総クロム Cr 不検出 (0.005 mg/kg 未満)
総ヒ素 As 0.064 mg/kg

6. 泉質 ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物・硫酸塩泉 (低張性中性高温泉)

平成21年 3月12日
登録番号 福島第3号
福島県郡山市喜久田町卸一丁目104番地1
株式会社新環境分析センター
福島県分析センター
センター長 生野 久人

温泉分析書 別表

1. 源泉名 小栗山温泉
2. 源泉所在地 福島県大沼郡金山町大字小栗山字五十刈 1852
3. 温泉分析申請者 諏佐 文伍
4. 泉 質 ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物・硫酸塩泉（低張性中性高温泉）
5. 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。
 - (1) 浴用の禁忌症
一般的禁忌症 急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（とくに初期と末期）
 - (2) 浴用の適応症
一般的適応症 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進

泉質別適応症 慢性皮膚病、切り傷、やけど
 - (3) 浴用上の注意事項
 - ア. 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。
その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。
 - イ. 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。
 - ウ. 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり（湯さわり又は浴場反応）が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
 - エ. 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。
 - ・ 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
 - ・ 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
 - ・ 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない（湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい）。
 - ・ 入浴後は湯冷めに注意して一定期間の安静を守る。
 - ・ 次の疾患については、原則として高温浴（42℃以上）を禁忌とする。
高度の動脈硬化症、高血圧症、心臓病
 - ・ 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
 - ・ 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
 - ・ 飲酒しての入浴は特に注意する。

（注1）この別表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

平成21年 3月12日
登録番号 福島第3号
福島県郡山市喜久田町卸一丁目104番地1
株式会社新環境分析センター
福島県分析センター
センター長 生野 久人

